愛と創造

山形市立第十中学校
学校だより９月号
2026.9.25

創造する（つくる）　大きな集団力の伸び　地域とともにある学校

□合唱コンクール　９月16日　響き合う歌声　重なり合った心





去る９月 16 日に、「虹～心を重ねて造る美しいハーモニー～」をテーマに、山形市民会館を会場にして合唱コンクールを行いました。当日は、各学年の学年合唱を歌った後に、各クラスの合唱を行う方式で、1 年生から順に行いました。

今年度は、昨年度以上に合唱のレベルが上がり、聞く人に合唱の美しさを伝えるようなハーモニーでした。1 年生の一生懸命さと表情の豊かさ、2 年生のハーモニーの素晴らしさと一体感、3 年生のハーモニーの幅広さと表現力の豊かさ、学年が上がるごとに合唱のレベルが上がっていました。また、実行委員会の委員の皆さんの気配りした運営の仕方やクラス紹介をする各学級の代表者の堂々とした発表態度など、合唱以外でも生徒の皆さんの成長を感じました。



「歌は心」～生徒の皆さん一人ひとりが自己表現しながらクラスとしてつくり（創り）上げ、やりきった合唱発コンクールとなりました。

当日は、保護者席が一杯になるほど、たくさんの保護者の皆様などに参観いただきました。感謝申し上げます。

□市中新人戦壮行式　９月18日







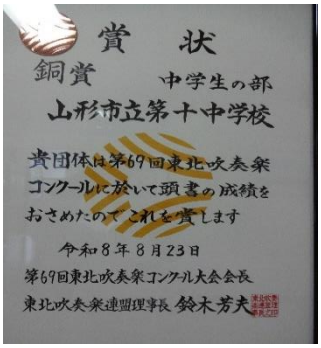
去る９月 18 日に、第 79 回山形市中学校新人体育大会に出場する選手と市のＤ（デッサン）１グランプリに出場する美術部の皆さんの壮行式を行いました。

今年度は、体育館が空調工事中のため、グラウンドで行いました。当日は、午前中の開催にもかかわらず、多くの保護者の皆様はじめご家族の方々に参観していただくなか進められました。

出場する 17 団体から、緊張感を感じながらも気迫と元気のある決意発表が行われました。また、応援団を中心とする全校応援では、十中生の心を一つにした応援が行われ、出場する皆さんは、熱い声援を感じながら大会に向けて気持ちを新たにしていました。

なお、市新人体育大会等は、来る９月 26 日・27 日の両日に行われます。

□東北吹奏楽コンクール 8 月 23 日　サマーコンサート 8 月 29 日


賞　状
銅賞　中学生の部
山形市立第十中学校
貴団体は第69回東北吹奏楽コンクールに於いて頭書の成績をおさめたのでこれを賞します
令和8年8月23日
第69回東北吹奏楽コンクール大会会長
東北吹奏楽連盟理事長 鈴木芳夫

去る 8 月 23 日に岩手県盛岡市にある「トーサイクラッシックホール岩手」を会場に、第 69 回東北吹奏楽コンクール第 2 日、編成 50 名以内（大編成）の中学生の部が開催されました。このコンクールは、全国大会の予選を兼ねており、東北各県の予選を勝ち抜いた 24 校が集まりました。

当日は、会場周辺で入場を待つ観客の皆さんが長蛇の列をつくるとともに、会場内は 3 階席まで満員の中、コンクールが実施されました。本校の吹奏楽部は、県大会と同じく、課題曲「管楽器のためのフィナーレ」、自由曲「紅炎の鳥」を演奏しました。演奏終了とともに、惜しみない観客の皆さんからの拍手が寄せられました。結果は「銅賞」。結果については、全国大会をめざしていただけに悔しさが残ったようで、来年度に向けて新たな目標を掲げる大会となりました。

なお、8 月 29 日には、3 年生が最後の演奏となるサマーコンサートが、吹奏楽部保護者会主催で開催されました。

□地域貢献　各地区でボランティア活動実施


富の中敬老会


富の中敬老会


吉原秋祭り

今月は、学区内各町内会様からの要請にお応えして、各地区に出向いてのボランティア活動を実施しました。校内での周知活動やとりまとめなどは、JRC 委員会が集約をしています。9／6 ひまわり公園・吉原西公園での除草作業、9／12 吉原秋祭りでの運営補助作業、9／21 富の中敬老会でのお祝い品贈呈と応援ボランティアです。

特に、9／21 富の中敬老会でのお祝い品贈呈と応援ボランティアでは、地域の小松様の働きかけに、本校の総合文化部の皆さんが造花をつくり、敬老会の皆さんに贈呈しました。また、応援団の皆さんが、敬老会の皆さんに応援活動を披露して喜んでいただきました。

今回も、各地区の町内会の皆さんにご尽力していただきながら、生徒の皆さんとの交流の機会をいただいています。地区の町内会の皆さんから「生徒の皆さんから元気をもらえた」と声をいただき、とてもうれしい思いでいます。


吉原西公園

□第 65 回県少年の主張　優秀賞　3 年　滝沢夏実さん



去る 9 月 15 日に第 65 回県少年の主張・全国大会予選会～いま伝えたい私のメッセージ～（山形新聞・山形放送、県防犯協会連合会等主催）が開催されました。今回の県大会は、各地区のブロック大会から選ばれた 15 名で、全国大会出場者 1 名を選ぶ大会です。本校から、3 年生の滝沢夏実さんが出場しました。

滝沢さんは、「文字に乗せて伝える『心』」と題して熱弁を振るいました。主旨は、現代のデジタル社会に疑問を投げかけるもので、中学生の素朴な視点から自らの体験を踏まえ大切なものを論じていく構成になっています。書道や自筆で文字を書くことから得られた体験をもとにした話です。

なお、来る 10 月 3 日付山形新聞特集面等で、滝沢さんの作品が掲載されます。地域や保護者の皆様には、ぜひお読みいただき、中学生の感性に触れていただければ幸いです。